



## 二学期のしめくくりです。

師走の訪れとともに、紅葉していた茜ヶ丘の木々の葉が一気に散り始める季節となり、今年もあとひと月、二学期をしめくくる時期となりました。



さて、「虐待」「いじめ」等、子どもに関する痛ましい報道が連日のように大きく取り上げられています。当事者となった子どもたちの気持ちやそのご家族、地域のみなさんの悲しみや苦しみを思うと、胸が押しつぶされそうになります。

12月10日は国際連合が定めた「人権デー」です。「人権」とは、私たちが幸せに生きるための権利で、世界中の誰もがもっている権利です。わが国では、毎年、12月4日から10日までを「人権週間」と定めています。その期間中、「人権」に関する人々の意識を高め、平和で、人に優しい社会をつくるため、全国各地でさまざまな啓発活動が展開されます。

本校でも、毎年この時期を一つの節として、自分たちの生活をふり返り、身近な「人権」の課題について気付き、「人として大切にすべきものは何か。」「相手を思いやるとはどういうことか。」「命を大切にすることはどういうことか。」などについて学習を進め、望ましい態度や実践力へとつながるよう指導を行います。

東日本大震災後の人々の心を癒したといわれる「アンパンマンのマーチ」を紹介します。

**“そうだ おそれないで みんなのために”“愛と勇気だけが ともだちさ”“何のために 生まれて 何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのはいやだ”**

作詞したやなせたかしさんは、「献身」と「愛」だけはどんな時代になっても変わらない正義であること、お互いに相手を喜ばせたいと思って動いたらものごととはきつとうまくいくことを私たちに伝えてくださっています。「人権」を守ること、大切にすることをしっかりと学んだうえで、さらに一歩進んで「相手の喜ぶことをしよう。」と行動することのできる力を子供たちに身に付けてほしいと思います。

ご家庭でも、「思いやりの心」や「かけがえのない命」の大切さについてお話をしていただく機会をもっていただきたいと思います。また、お子様の様子で気になること、心配なことがあれば遠慮なく学校にご相談いただきたいと思います。子どもたちのよりよい成長のために一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



校長 藤原 佳弘  
教職員 一同